

津松阪港 地震・津波検討会議（第5回） 議事概要

日 時：平成 25 年 3 月 7 日 14:30 ～ 16:00
場 所：三重県総合文化センター

《座長》

- 当会議は平成 23 年 9 月より検討を開始。また、東日本大震災からまる 2 年が経過。
- 南海トラフの巨大地震において、様々な検討結果が公表されるたび、国民の方々の心配が募る。
- 地に足ついた対策を進めていくことが必要であり、また、大きな伊勢湾のエリアでの対策とリンクした議論を行い、国民の方々が安心できる対策を進める使命がある。
- 港湾 BCP 策定については、作業部会にて関係者で十分に作り込みをお願いする。その結果については、当会議に報告頂きたい。作業部会の十分な議論に期待する。

<自治体等>

- 発災時に陸上ルートが寸断する中、海からの輸送は重要。
- 市においても防災無線の配備などに努めているところ。
- 堤外地に位置する企業には、特に情報システムの強化や相互支援が必要。
- 早期機能回復も必要であるが、BCP を考えていく上で、指揮命令系統の一本化が不可欠と考えている。
- 避難誘導計画については、順次進めて参りたい。引き続き皆様のご協力をお願いする。

<民間等>

- 地震津波対策は、多方面に検討され着実に進められている。
わかりやすい港湾 BCP を早期に策定して頂きたい。
- 発災時における避難に備え、本日、防災協議会を開催。
全員に情報周知することが大切であり、継続して社員教育に取り組む。
- 津波に対する避難距離が 1 km。立地していること自体カントリーリスク。
地震津波対策は、多方面から検討して頂き、立地企業が安心できるよう着実に進めて頂きたい。
- 社内でも津波に対する不安感があり、BCP を策定しているところ。
- 事業者の観点からの BCP は、災害時において供給・生産と物流をどう確保していくか。他の関連事業者の方々の BCP をご紹介いただければありがたい。
- 当社では、よりよいデータ・情報を確実に伝達することが重要と考えている。
GPS 波浪計の情報について検討中との事であるが、早く情報を頂ければ幸い。
- 現在整備中の津松阪港海岸の整備完了予定は平成 35 年。早期完了をお願いしたい。

<国>

- 昨年度の地震津波対策検討会議にて策定された「基本方針」に基づき、ソフト面・ハード面から検討を進めているところ。
- 8月29日には内閣府より巨大地震による推定津波高さが公表され、現在、三重県で浸水域の検討を進めている。
- 今年1月には、港湾BCP策定に向けて作業部会を立ち上げた。
- 笹子トンネル事故を契機に、各港の港湾施設においても緊急点検を実施するため、準備を進めている。
- 本会議を通じて、具体的な地震津波対策検討を進め、地域の方々へ広く情報提供するとともに、真に必要な対策を進めてまいりたい。
- 昨年、海事関係機関で「津波避難マニュアル」を策定。
- 企業のマニュアルができた段階で、発災後の緊急避難に関する情報交換のため、会議を開催することを考えている。
- 四日市港の消防船は、この度、現在の「しょうりゅう」に替わり「あおたき」を配属予定。消化能力は劣るが、速力については格段にあがる。今後は機動力が向上し、名古屋港の消防船との2隻体制で広域的な対応が可能となる。
- GPS波浪計のデータは、現在、インターネットで情報入手可能。
今後、伊勢湾口に新たに設置するGPS波浪計情報を含め、避難に関する情報提供方法は検討中。役立つ提供方法にしていきたい。
- 国で整備している海岸保全施設は、早期完成にむけて努力していく。
- 引き続き来年度も、地震津波対策検討会議を継続していく予定。
- 港湾BCP等地震津波対策については、的を絞った検討を進めていく。

以 上